

奥州市新医療センター新築問題は、財政的観点だけでなく

「求められる医療を充実する施設」として検討すべきでないか？

民報

おうしゅう

読者版

発行
 赤旗奥州出張所
 水沢大手町三丁目
 59番地
 Tel 24-2021
 Fax 24-2049

8月21日定例の奥州市議会議員全員協議会が開催されました。奥州市から、説明事項として「奥州市新医療センター整備基本計画中間案について」他5項目について説明がありました。今回は奥州市新医療センターについての説明とその質疑の概略について紹介いたします。

「全体基本計画」①建物…面積病院分8000㎡、コミュニティ施設分2800㎡程度、②建設場所…水沢公園陸上競技場、概算事業費…最大96億円、市民の実質負担29・2億円（1年あたり1億円）

「病院施設の基本計画」①診療科…水沢病院の診療科を引き継ぎ、総合診療科とリハビリテーション科を新設、②病床100床程度のスペースを確保し一般病床80床、経営の基本方針…水沢病院の赤字脱却、医師の確保、市立医療施設の最適化の考え方を提示

「コミュニティ施設の基本計画」①医療・保健・福祉が連携した市民サービスを提供できる施設、特に産後ケアや子どもの遊び場などの母子・子育て支援、健康ニーズにこたえるヘルスケア、在宅医療介護連携などの機能を担う、②公園と隣接した多世代の市民が集う場所とする

担当者は、整備基本計画として

おおよそ上記枠内の内容について説明したのち、この間開催された①新医療センター検討懇話会（市民団体代表等で構成）では、強い反対意見はなかったが、丁寧な市民説明を望む意見や分娩機能を望む意見があったこと、②地域医療懇話会（医療・介護関係者で構成）では、複数の委員から、完成後の安定経営に対する懸念や医師確保の困難さなどを理由とした建設反対の意見や、整備場所への異論が出され、経営の基本方針（上記傍線部分）を盛り込み、民間小児科医の確保等を追記したと説明しました。

「水沢病院の役割は

終わった」？

各議員からは、地域医療の在り方等の議論はほとんどされず、完成後の病院経営への疑問、医師確保への疑問が多く出され、「民間が充実している水沢地域市街地での水沢病院の

役割は終わった」のではないかと質される場面もありました。

土日対応できる小児科を

—佐藤美雪議員

日本共産党の佐藤美雪議員は、小児科の休日対応について、①新医療センターで取り組めるようにするべきでないか、②5つの医療施設の統合案が、市民の反対署名などで撤回されたことの記述が、医療懇話会の発言を受け削除されているが、大きな世論であり削除すべきでない」と質しました。

前向きに検討する

担当者は、①休日対応は前向きに検討したい。②当時の統合案を「市民に反対されたから」ではないかなものかという意

住民説明会が左の日程で開催されます。

見があり修正したと説明しました。

住民説明会（説明者…市担当部職員）

9月10日（火）	午後6時半～	胆沢総合支所
9月11日（水）	午後6時半～	前沢総合支所
9月12日（木）	午後6時半～	衣川健康福祉センター
9月13日（金）	午後6時半～	江刺総合支所
9月20日（金）	午後6時半～	市役所本庁
9月21日（土）	午前10時～	水沢地区センター

9月議会

日本共産党市議団の一般質問は次の通りです

○質問は9月3日午前11時頃から

1. 衣川村制施行100周年記念樹（桜並木）の管理について
2. 高速道路と交差する市道の環境整備について
3. 自殺対策の取り組みについて



菅原 明 議員

○質問は9月3日午後1時頃から

1. 国民健康保険税の在り方について
2. ICTを活用した学校教育について
3. 江刺工業団地渋滞緩和策について



千葉 敦 議員

○質問は9月4日午前10時から

1. 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明について ①専門部署の立ち上げ、②再生可能エネルギー導入の可能性と拡大、③地球温暖化対策実行計画区域施策の策定、④融雪水の活用計画と進捗について



瀬川 貞清 議員

○質問は9月4日午後3時頃から

1. 高齢者世帯等への「エアコン設置支援制度」の創設について
2. (株)ひめかゆの経営状況と支援策について



今野 裕文 議員

○質問は9月5日午後2時頃から

1. 新医療センターの役割と必要性について
2. 子どもを産める体制について
3. 災害時における避難所運営と避難時の自助・公助の在り方について



佐藤 美雪議員

民報おうしゅう8月25日号「79回目の終戦記念日」の記事の中で、菅原明議員の写真の下は「衣川」としましたが「前沢・衣川」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。